

【報道関係各位】

2026年7月8日  
株式会社ベネッセコーポレーション  
代表取締役社長 岩瀬 大輔

## ベネッセ、「多様な学び」の社会実装に向けた官民連携イベント 『多様な学びカンファレンス 2026』に参画

教育現場や自治体、企業、研究機関など、多様なステークホルダーと共創・推進

株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：岩瀬 大輔、以下：ベネッセ）は、一般社団法人 ICT CONNECT21<sup>\*1</sup>が2026年8月30日（日）に開催するイベント「多様な学びカンファレンス 2026」に参画します。



ICT CONNECT 21

# 多様な学び カンファレンス 2026

学びのOSを、アップデートしよう。  
実践・テクノロジー・研究の融合で  
多様性を前提とした教育基盤を共創する

鈴木 寛  
東京大学教授

石戸 奈々子  
慶應義塾大学教授

塩瀬 隆之  
京都大学  
総合博物館教授

今村 久美  
認定NPO法人  
カタリバ代表理事

岩瀬大輔  
(株)ベネッセ  
コーポレーション  
代表取締役社長

2026年8月30日（日） 13:30～17:30  
東京大学 伊藤謝恩ホール

主催：一般社団法人 ICT CONNECT21 多様な学びSIG  
後援：文部科学省  
参加費：無料（事前申込制）、オンライン配信あり

本イベントは、不登校や認知特性・発達特性など、子どもたちの多様化する個性や学びのニーズに対応し、「多様な学び」の社会実装を目指す官民連携イベントです。教育現場や自治体、企業、研究機関など様々なステークホルダーが集い、実践知の共有や新たな連携の創出を通じて、これからの学びのあり方について議論します。

ベネッセは、本イベントの企画・運営母体となる ICT CONNECT21 のワーキンググループ「多様な学び SIG（Special Interest Group）」の幹事企業として参画しており、パネルディスカッションやブース出展を通じて、多様な学びの社会実装に向けた取り組みを発信します。

\* 1：一般社団法人 ICT CONNECT21：教育分野の ICT 化を目的に教育現場、自治体、企業、研究機関など多様なステークホルダーが連携できる場を提供する一般社団法人。URL：<https://ictconnect21.jp/>

### ■「多様な学び SIG」とは

「多様な学び SIG（Special Interest Group）」は、一般社団法人 ICT CONNECT21 が2026年6月に設立したワーキンググループです。不登校や認知特性・発達特性など子どもたちの多様化する個性や学びのニーズに対応し、実践知の共有やネットワーク形成を推進することを目的としています。幹事企業はベネッセ、株式会社 LITALICO、認定 NPO 法人カタリバの3社が務め、教育現場や自治体、企業、研究機関など多様なステークホルダーとともに、多様な学びの実現に向けた議論や取り組みを推進しています。



## ■ ベネッセが「多様な学び SIG」に参画した背景

近年、不登校児童生徒数の増加や認知特性・発達特性への理解の広がりなどを背景に、子どもたちを取り巻く環境や学びのニーズはますます多様化しています。こうした中、一人ひとりの違いを前提として学びを再設計し、それぞれの個性に応じた学びの機会や環境を実現していくことが求められています。

ベネッセはこれまで、不登校支援をはじめとする多様な学びに関する取り組みを進めてきました。昨年開校した通信制サポート校「ベネッセ高等学院」およびフリースクール「ベネッセ高等学院 中等部」では、自社のシンクタンク「ベネッセ教育総合研究所」と連携した運営を行い、サードプレイスとしての“居場所”だけでなく、子どもたちが安心して学び、自分らしく成長できる「グランドデザイン」を提供。教育理論や定量データなどのエビデンスに基づいた運営を実践しています。こうした実践を通じて得られた知見を社会に還元し、多様なステークホルダーとの共創を通じてより良い学びの環境づくりを進めるため、ベネッセは「多様な学び SIG」の活動に参画しています。

## ■ 「多様な学びカンファレンス 2026」におけるベネッセの取り組み

本カンファレンスにおいて、ベネッセは以下の取り組みを実施します。

### ① パネルディスカッションへの登壇

幹事企業 3 社が行うテーマセッションのうち、ベネッセは「～デジタル・テクノロジーの活用～ 自律的な自己調整力を育む不登校支援」を担当します。代表取締役社長の岩瀬大輔がファシリテーターを務め、ベネッセ高等学院 学院長の上木原孝伸、京都大学総合博物館教授の塩瀬隆之氏らとともに、デジタル活用による自律的な学びのあり方について議論します。また、本セッションでは、「ベネッセ教育総合研究所」が「ベネッセ高等学院」および「ベネッセ高等学院 中等部」と連携して進めている、AI を活用した自己調整学習についても紹介し、研究の経過を報告する予定です。

### ② 展示ブース・ポスターセッションへの出展

会場内の多目的スペースにて、不登校支援に関する取り組みや実践事例を紹介いたします。

不登校への不安に寄り添い、多様な学びのスタイルを発信するベネッセ教育情報サイト「不登校ライフナビ」ブースでは、8 月に出版された新版書籍をご案内するほか、一人ひとりに応じた学びを支援する教育サービス・教材等を展示し、ご来場の皆様との意見交換を予定しています。



ブースイメージ

「多様な学びカンファレンス 2026」開催概要	
イベント名	多様な学びカンファレンス 2026
主催	一般社団法人 ICT CONNECT21 多様な学び SIG
後援	文部科学省
日時	2026 年 8 月 30 日（日） 13：30～17：30
会場	東京大学 伊藤謝恩ホール（東京都文京区本郷 7-3-1） ※オンライン配信あり
参加費	無料（事前申込制）
特設サイト	<a href="https://ictconnect21.jp/flourish_conference2026/">https://ictconnect21.jp/flourish_conference2026/</a>
プログラム（予定）	以下を予定しています。 13：30～13：40 開会挨拶 山西 潤一（一般社団法人 ICT CONNECT21 会長）

13:40～14:10 基調講演

「次期学習指導要領と『多様な学び・認知特性』への着目」

登壇者：鈴木 寛（東京大学教授、慶應義塾大学特任教授）

14:10～17:20 パネルディスカッション

テーマ①：誰ひとり取り残さない不登校支援の社会実装

ファシリテーター：今村 久美（認定 NPO 法人カタリバ 代表理事）

パネリスト：稲垣 一郎（神奈川県葉山町教育長）

瀬川 知孝

（カタリバ オンライン・子ども家庭支援ドメインディレクター）

テーマ②：多様なニーズのある子どもたちの学ぶ機会を保障する取り組み

ファシリテーター：秋元 智行

（株式会社 LITALICO 公共 DX 事業部 教育ソフト部部長）

パネリスト：石戸 奈々子（慶應義塾大学教授）

永塚 健（LITALICO スーパーバイザー）

テーマ③：～デジタル・テクノロジーの活用～ 自律的な自己調整力を育む不登校支援

ファシリテーター：岩瀬 大輔

（株式会社ベネッセコーポレーション 代表取締役社長）

パネリスト：上木原 孝伸（ベネッセ高等学院 学院長）

塩瀬 隆之（京都大学総合博物館教授）

※各テーマのその他の登壇者は決定次第、公式サイト等にて順次発表いたします。

17:20～17:30 閉会挨拶・来賓挨拶

18:00～ 意見交換会 ※関係者限定

## ■ご参加のお申し込み

本イベントは一般の方でもご参加いただけます。参加をご希望の方は、以下のフォームより参加登録をお願いいたします。

- 申込フォーム URL：<https://pro.form-mailer.jp/fms/b0a240dc353283>
- 申込期限：2026年8月30日（日）12:00（正午）